

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	21	3	1	・適切なスペースを機能的に使用できるよう、職員間で構造化を考慮しながら話し合い実施している。
	2	職員の配置数は適切であるか	23	2		・基準定員を満たしているが、十分な支援を行うため増員予定である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	6	1	・他の現場職員にも環境を見てもらい、改善に向け動いている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	25			・年度ごとに各事業所で年間計画の立案と、年度末に総括を行い、次年度の事業の向上のため努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	24	1		・毎年保護者アンケートを実施。年度末に職員間で共有し改善案を出し取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	17	7	1	・今後実施に向けて調整中である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	15	3	・法人本部に相談中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25			・毎月外部講師による研修や、法人内研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	23	2		・現場職員だけでなく、他の現場職員とも話し合っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	7	13	・各現場にて行動診断スケール等を場合により活用している ・事業所独自のアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	23	2		・日々の打ち合わせで1日の活動内容の共有を行っている。休日・長期休暇の立案は現場職員間で意見を出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	21	4		・企画を多く行うようにしている ・企画を行い、活動にメリハリをつけている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	22	3		・日によって全体スケジュールを組み替えている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	23	2		・客観的に課題を分析して作成するよう努めている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	25			・全体の活動と個々の様子について打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25			・振り返りを行い、支援計画に基づいた評価や支援の課題・個々の様子について共有している。また振り返りノートを作成し、情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	24	1		・支援計画の目標に対してどのような働きかけや関わりがあったかを記載できるよう常に目標を確認しながら検証・改善に繋げている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	25			・半年に1度懇談を行い、計画の見直しを行う。利用頻度の少ない利用者に対しては適宜電話にて聞き取りを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	23	2		・地域への買い出しや公園の利用など、地域の中で活動する機会を設けている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	23	2		・可能な限り計画の立案者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	23	2		・保護者を通して情報を提供して頂いている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	11	12	・現在医療的ケアが必要な児童の利用はないため、主治医との連携は行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	13	7	・直接的なやりとりはないが、保護者様からの聞き取りを行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	23	2		・卒業後サービス事業所と連携を行い、情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	23	1	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	21	3	1	・アソビバを2017年より実施。お祭りや、ケーキ作り・ふうせんパレー・街中探検(地域交流)を行った。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	25			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25			・連絡帳の記載の他、電話やメールにて直接相談させて頂いている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	23	1	1	・すみずみ研修への参加案内を行い、懇談やママレモンズでの支援に役立つ情報の提供を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	24	1		・契約時に説明を行う。問い合わせの際も速やかに対応を行い納得して頂いている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25			・送迎時や連絡帳、必要に応じて電話やメールなどで情報の提供・共有を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25			・ママレモンズ(母親回)・おやじの会(父親回)を開催し、参加して頂いている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25			・苦情があった際は従事者で即時に共有し、速やかに対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	25			・月に1度のお知らせや、HP・SNSを通して情報の発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	25			・個人情報の取り扱いについての誓約書を従事者全員に提供してもらっている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	25			・個々に応じた視覚的な配慮を行っている。 ・外国籍の方との情報共有の際はルビ打ちのお便りや、必要であれば外国語で記載したものを提示して情報共有を行う。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	23	1	1	・法人本部ではしているが、じらふ単独ではしていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	13	11	1	・防災・感染症対応マニュアルについては全従事者に周知しているが保護者に対する周知が行えていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25			・毎月防災訓練を行っている。また法人全体の防災訓練にも参加し、学んだことを現場にて共有している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25			・年に1度、全従事者が虐待防止研修を受けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	24		1	・個別支援計画に記載し、懇談時保護者に説明を行い同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	19	6		・指示書をいただいたご家族とやりとりをして実施 ・保護者から聞き取りを行い、留意点を職員間で周知している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	25			・スタッフへのたよりにのせている。